

正解がないからこそ  
楽しさがある職業



こまつ まさし  
小松 真士さん (32)

(個室ユニット型特別養護  
老人ホーム 聖心ホーム)

介護の現場から

介護の現場で働く若者に、介護職の魅力やきっかけについて聞きました。

兄や姉の背中を追って  
介護の世界に入ってから約5年です。高校卒業後に愛知県に就職しましたが、結婚を機に帰郷。姉が看護師、兄が介護士をしている影響もあり、何か人の役に立てないかと考え、今の職場に就職しました。小さい頃からおじいちゃん・おばあちゃん子だったことも理由の1つです。

現在は、利用者が起床してから就寝するまでの食事や入浴、排せつなど日常生活の介助をしています。利用者の中で特に認知症の人は、日によって状態にむらがあるので様子を見ながらその時々に合わせて対応をするように心掛けています。認知症は、私たちの話し方や対応次第で症状の進み具合が変わります。そこで、認知症の進み具合をいかに緩やかにできるかを考えて、日々業務に励んでいます。

数カ月前までは今とは違う部署にいたのですが、以前関わっていた利用者から「どこに行つとったんね!」と言われた時は、自分のやってきた対応が間違っておらず、必要とされているんだとやりがいを感じました。

人が相手の仕事なので大変なこともたくさんありますが、人生の先輩から貴重な話が聞けて、学びにもつながるのでとても魅力的な職業です。私には幼い3人の子供がいますが、子育ての経験を介護の現場で活かすことがで



▲施設の文化祭の出し物(展示作品)の準備を手伝う小松さん

正解がないことがやりがい  
以前は工場で働いていて、マニュアル通りに仕事をすればよかったのですが、介護には正解がありません。利用者一人一人の性格やその日の状態で対応は変わりますし、やり方は人それぞれ。今までの経験や先輩たちから学んだことを参考にしながら、自分が納得し利用者にも満足してもらえる正解を見つけるようにしています。学ぶことが多い毎日ですが、それもやりがいや楽しさの1つではないでしょうか。介護の経験がない人でも半年間研修を受け実務を3年間経験すれば、介護福祉士の資格を取得できます。笑顔がすてきで優しく、パワフルな人はぜひ介護士になってみませんか。

き、子どもたちは仕事の活力源にもなっています。

特集 介護ってどんな仕事？

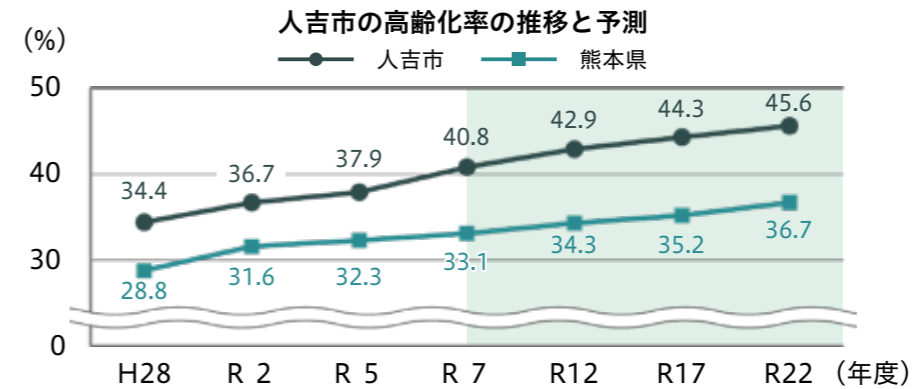
～介護職の魅力を知って～



現在、全国で介護職の人材不足が大きな問題となっています。国の推計では、令和7年度には全国で約32万人が不足するそう。しかし、以前に比べると介護職の働く環境は整ってきていて、人の役に立つ実感が得られるなど仕事はやりがいにあふれています。

11月11日は「介護の日」。それにちなんで、この特集では介護職の魅力を紹介します。

問合せ 市高齢者支援課元気・長生き係 (☎22-2111 内線1231)



※第9期熊本県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画(熊本県)  
人吉いきいき高齢プラン(人吉市)

人吉市の高齢化率  
約40%



2.5人に1人が高齢者

人吉市の2.5人に1人が高齢者

人吉市の高齢化率は令和6年9月末時点で38・61%。約2・5人に1人が高齢者です。高齢者単居率(高齢者が1人で暮らしている割合)は約17%、要介護認定率(介護が必要だと認定された高齢者の割合)は約16%で、高齢者の5人に1人が1人で暮らし、介護が必要な状態です。高齢者全体の数は減少傾向ですが、生産年齢人口(15歳～64歳)の急激な減少が見込まれることから、高齢化率は今後も上昇すると考えられます。

介護のなり手も不足する時代に

現在、高齢者やその家族を支える介護人材の不足が問題になっています。国の推計では、令和7年度には全国で約32万人の介護人材が不足するとされています。介護の現場では老老介護(高齢者が高齢者を介護すること)の状態になっていて、若いなり手が不足しています。

令和7年には第1次ベビーブーム期に生まれた団塊世代が75歳以上に。令和22年には団塊世代ジュニアが65歳以上となり、全国の高齢者数はピークを迎えます。医療・介護が必要な高齢者が増加する一方で、生産年齢人口は減少するため、若い世代の介護人材の確保はさらに難しくなります。